



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年10月26日

上場会社名 日本航空電子工業株式会社

上場取引所

東

コード番号 6807

URL <http://www.jae.com>

代表者 (役職名) 社長

(氏名) 小野原 勉

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 青木 和彦

(TEL) 03-3780-2752

四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日

配当支払開始予定日

平成28年12月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績 (平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	89,861	△7.5	4,142	△66.7	2,638	△77.1	2,103	△75.3
28年3月期第2四半期	97,116	9.2	12,440	17.1	11,535	15.8	8,503	18.0

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 △1,188百万円 (- %) 28年3月期第2四半期 7,983百万円 (△12.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	23.15	23.14
28年3月期第2四半期	93.62	93.51

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	167,378	102,099	60.9
28年3月期	165,833	104,627	63.0

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 101,984百万円 28年3月期 104,524百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
29年3月期	—	15.00			
29年3月期(予想)			—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想 (平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	207,000	15.3	12,500	△30.3	10,000	△41.0	7,500	△40.1
								82.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

29年3月期2Q	92,302,608株	28年3月期	92,302,608株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

29年3月期2Q	1,442,475株	28年3月期	1,456,426株
----------	------------	--------	------------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

29年3月期2Q	90,854,944株	28年3月期2Q	90,833,712株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は、この四半期決算短信の開示時点において実施中であり
ます。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）P3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

当社は、平成28年10月26日に機関投資家及びアナリスト向けの四半期決算説明会を開催する予定です。なお、四半期決算説明会で使用する説明資料につきましては、同日、当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P 2
(1) 経営成績に関する説明	P 2
(2) 財政状態に関する説明	P 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P 3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P 3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P 3
(2) 追加情報	P 3
3. 四半期連結財務諸表	P 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P 6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P 7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P 8
(継続企業の前提に関する注記)	P 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P 8
(セグメント情報等)	P 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の世界経済は、米国では個人消費を中心に回復基調が継続しましたが、期央において、欧州での英国のEU離脱問題や金融システムに関する不安から各国株式市場や為替相場が混乱し、その後落ち着きを取り戻しつつあるものの、わが国経済においては、期央に急激に進んだ円高基調が継続し、輸出関連企業の業績への影響や依然として停滞する個人消費などから厳しい状況となりました。

一方、当社グループの関連するエレクトロニクス市場は、自動車市場は海外を中心に堅調に推移しましたが、スマートフォン市場の成熟化やそれに伴う競争激化、工作機械等の産業機器市場の停滞などから、市場全体として厳しい事業環境下で推移しました。

このような状況のもと当社グループは、主力のコネクタ事業を中心に、成長市場・機器に対し、積極的なグローバルマーケティングと新製品開発活動のスピードアップによる受注・売上の拡大を図るとともに、内製化の更なる強化によるコストダウン、設備効率化及び諸費用抑制など経営全般にわたる効率化を推進し業績向上に努めました。しかしながら、上述の外部環境の変化、とりわけ為替の影響を受けたことや新製品の開発費用が増加したことなどから、当第2四半期連結累計期間の売上高は898億61百万円（前年同期比93%）となり、利益面においては、営業利益41億42百万円（前年同期比33%）、経常利益26億38百万円（前年同期比23%）、親会社株主に帰属する四半期純利益21億3百万円（前年同期比25%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金の減少はあったものの、売上増加に伴う売上債権、たな卸資産の増加や新製品生産増強投資による有形固定資産の増加などから、前連結会計年度末に比べ15億44百万円増加の1,673億78百万円となりました。

負債は、約定返済により借入金は減少したものの、生産増加による生産用材料等の仕入債務の増加などから、前連結会計年度末に比べ40億72百万円増加の652億78百万円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益計上による増加はあったものの、主として円高に伴う為替換算調整勘定の減少から、前連結会計年度末に比べ25億27百万円減少の1,020億99百万円となり、自己資本比率は、60.9%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権やたな卸資産の増加によるマイナス要因はあったものの、税金等調整前四半期純利益及び減価償却費の計上や仕入債務の増加などから、70億73百万円のプラス（前年同四半期207億82百万円のプラス）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、新製品生産用設備を中心とする有形固定資産取得による支出などから、124億97百万円のマイナス（前年同四半期103億63百万円のマイナス）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、主として借入金の約定返済などから、54億8百万円のマイナス（前年同四半期51億50百万円のマイナス）となりました。

この結果、現金及び現金同等物の当四半期末残高は、前連結会計年度末に比べ124億49百万円減少の254億59百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年度3月期の通期業績予想につきましては、第3四半期以降の売上高は、堅調に推移する見通しであります。利益面は、売上における製品構成の変化により、下記のとおり修正いたします。なお、下記の修正予想の前提となる為替レートは、1米ドル105円としております。

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	210,000	16,000	13,700	10,000	110.06
今回修正予想 (B)	207,000	12,500	10,000	7,500	82.55
増減額 (B - A)	△3,000	△3,500	△3,700	△2,500	
増減率 (%)	△1.4	△21.9	△27.0	△25.0	
(ご参考) 前期連結実績 (平成28年3月期)	179,494	17,928	16,945	12,515	137.77

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

ただし、当該見積実効税率により計算した税金費用が著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率により計算する方法によっております。

(2) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	37,918	25,459
受取手形及び売掛金	30,549	38,404
たな卸資産	12,937	15,587
繰延税金資産	1,542	2,269
その他	5,387	6,271
貸倒引当金	△59	△57
流動資産合計	88,276	87,934
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	24,013	24,369
機械装置及び運搬具（純額）	19,364	23,362
工具、器具及び備品（純額）	6,509	8,158
土地	5,787	5,749
建設仮勘定	9,404	5,397
有形固定資産合計	65,078	67,037
無形固定資産	3,190	3,046
投資その他の資産		
繰延税金資産	3,080	2,945
その他	6,345	6,554
貸倒引当金	△138	△139
投資その他の資産合計	9,287	9,360
固定資産合計	77,556	79,444
資産合計	165,833	167,378

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	29,988	38,367
短期借入金	8,856	6,906
未払法人税等	591	992
取締役賞与引当金	105	30
その他	8,848	8,836
流動負債合計	48,390	55,132
固定負債		
長期借入金	8,084	5,981
退職給付に係る負債	4,196	3,696
その他	533	467
固定負債合計	12,815	10,145
負債合計	61,205	65,278
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,690	10,690
資本剰余金	14,497	14,498
利益剰余金	78,947	79,688
自己株式	△1,093	△1,083
株主資本合計	103,041	103,792
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	953	1,143
為替換算調整勘定	1,106	△2,423
退職給付に係る調整累計額	△576	△528
その他の包括利益累計額合計	1,483	△1,808
新株予約権	102	115
純資産合計	104,627	102,099
負債純資産合計	165,833	167,378

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
売上高	97,116	89,861
売上原価	73,425	75,355
売上総利益	23,690	14,506
販売費及び一般管理費	11,249	10,364
営業利益	12,440	4,142
営業外収益		
受取利息	25	23
受取配当金	54	60
為替差益	27	—
受取補償金	73	—
その他	83	62
営業外収益合計	263	146
営業外費用		
支払利息	60	39
固定資産除却損	872	196
為替差損	—	1,205
その他	235	208
営業外費用合計	1,168	1,650
経常利益	11,535	2,638
税金等調整前四半期純利益	11,535	2,638
法人税、住民税及び事業税	3,110	574
法人税等調整額	△78	△40
法人税等合計	3,032	534
四半期純利益	8,503	2,103
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,503	2,103

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
四半期純利益	8,503	2,103
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△163	190
為替換算調整勘定	△335	△3,530
退職給付に係る調整額	△19	48
その他の包括利益合計	△519	△3,291
四半期包括利益	7,983	△1,188
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,983	△1,188
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	11,535	2,638
減価償却費	8,376	9,096
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△813	△446
受取利息及び受取配当金	△79	△83
支払利息	60	39
為替差損益 (△は益)	△103	△23
固定資産除却損	872	196
売上債権の増減額 (△は増加)	4,007	△9,177
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,226	△3,227
仕入債務の増減額 (△は減少)	△751	8,544
その他	2,036	△111
小計	23,915	7,444
利息及び配当金の受取額	79	84
利息の支払額	△61	△43
法人税等の支払額	△3,150	△734
法人税等の還付額	—	322
営業活動によるキャッシュ・フロー	20,782	7,073
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	3	7
有形固定資産の取得による支出	△9,696	△12,009
有形固定資産の売却による収入	14	1
投資有価証券の取得による支出	△248	△1
その他	△435	△495
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,363	△12,497
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△3,805	△4,053
配当金の支払額	△1,362	△1,362
その他	17	7
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,150	△5,408
現金及び現金同等物に係る換算差額	△57	△1,618
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	5,211	△12,449
現金及び現金同等物の期首残高	37,730	37,909
現金及び現金同等物の四半期末残高	42,942	25,459

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注)2	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	コネクタ 事業	インターフェース・ ソリューション事業	航機事業				
売上高	87,557	4,098	5,041	418	97,116	—	97,116
セグメント利益 又は損失(△) (注)1	15,002	568	△800	185	14,956	△2,515	12,440

(注) 1 セグメント損益は、四半期連結損益計算書上の営業損益であります。各報告セグメントへの配分が困難な本社スタッフ費用等の一般管理費2,515百万円については調整額としております。

2 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その他の物品の販売並びにサービス事業を含んでおります。

当第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注)2	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	コネクタ 事業	インターフェース・ ソリューション事業	航機事業				
売上高	79,920	3,747	5,869	324	89,861	—	89,861
セグメント利益 又は損失(△) (注)1	6,354	366	△402	172	6,492	△2,349	4,142

(注) 1 セグメント損益は、四半期連結損益計算書上の営業損益であります。各報告セグメントへの配分が困難な本社スタッフ費用等の一般管理費2,349百万円については調整額としております。

2 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その他の物品の販売並びにサービス事業を含んでおります。